

平和への思いをつむぐ 町民のつどい

～駐日ウクライナ特命全権大使セルギー・コルスンスキー氏を迎えて～



期日：令和5年2月23日(木)

会場：上里町総合文化センター「ワーブ上里」

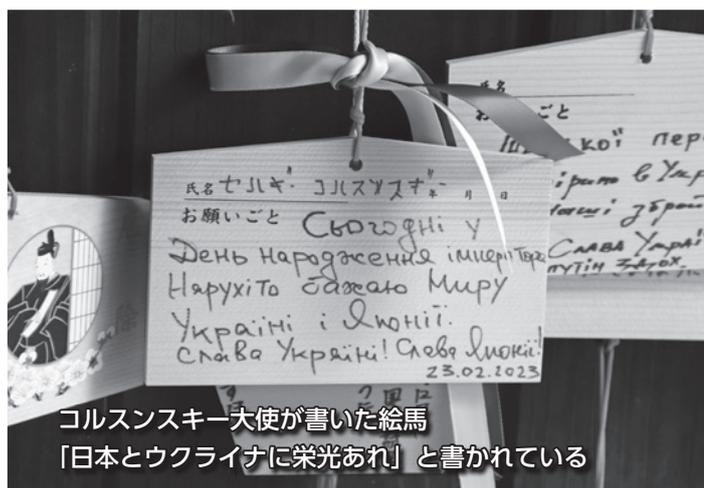
駐日ウクライナ特命全権大使 セルギー・コルスンスキー氏来訪の経緯

上里菅原神社で神職を務めるウクライナ出身の梅林テチャナさんが、英語とウクライナ語で書かれた御朱印を頒布し、参拝者やマスコミなど多方面から注目されました。

また、町の広報大使を務めているシンガーソングライターTAON（タオン）さんが、令和4年9月に駐日ウクライナ大使館に招待され、オリジナルソング「ウクライナに栄光あれ～ウクライナとともに～」(4月～9月の期間、防災行政無線のチャイム放送で使用されます)を披露しました。

これらの取組がご縁となり、ウクライナ大使館の皆さまが上里町に関心を寄せていただくことになり、令和5年2月23日(木)に大使夫妻および大使館関係者14名が来訪し、「町民のつどい」が開催されることとなりました。

上里中学校吹奏楽部の演奏に拍手を送る
コルスンスキー大使



コルスンスキー大使が書いた絵馬
「日本とウクライナに栄光あれ」と書かれている



菅原神社本殿での玉ぐし拝礼

梅林ご夫妻から花束と御朱印の贈呈



こむぎっちと抱き合うコルスンスキー大使
ウクライナの特産品も上里町と同じ「小麦」



コルスンスキー大使が語った思い

2月23日(木)、上里町を訪問されたコルスンスキー大使は、上里菅原神社を参拝し、平和を祈願しました。その後、ワープ上里で行われた式典内で、350名の参加者に対してスピーチを披露されました。

「明日2月24日は、ロシアの軍事侵略開始から1年になるという、非常に痛ましい記念日です。この美しい上里町の平和な祭日(天皇誕生日)に、ウクライナでは人が死んでいます」と戦争の悲惨さを訴えたほか、ウクライナが日本から受けている支援に感謝の意を示されました。また、「第二次世界大戦や東日本大震災などから復興した日本に私たちもなりたい、できるだけ早く、美しく平和なウクライナを造りたい」と語られました。

今回のコルスンスキー大使の訪問により、町全体で平和について考える良い機会となりました。

山下町長からの目録贈呈



ウクライナ避難民支援のための募金活動

コルスンスキー大使の来訪をきっかけに、ウクライナ避難民支援のための募金活動を実施しました。街頭での募金活動や公共施設、町内の商業施設で寄付を募り、町内外問わず、多くの方にご協力をいただきました。

2月23日(木)の式典内で山下町長からコルスンスキー大使に目録が贈呈され、最終的には、総額924,642円の募金がウクライナ避難民を支援する活動に役立てられることになりました。

今回の募金にご協力をいただきました皆さまに、心から感謝申し上げます。

募金活動の様子



上里中学校吹奏楽部が「世界に一つだけの花」を演奏
会場中が一つになり、演奏終了まで手拍子が続いた



英語で平和に向けてのスピーチをした村島希佳さん
(上里中学校)



スペシャルライブで歌を披露したTAONさん
(上里広報大使)

